

## No. 9 : 天皇誕生日祝賀レセプション ～各国要人に県産品 PR～（令和 5 年 3 月 28 日）

2月10日、アイランドシャングリ・ラ香港にて、「令和4（2022）年度天皇誕生日祝賀レセプション」が開催された。前回の開催からおよそ4年ぶり、令和となってからは初めての開催である。

会場の一角には地方自治体ゾーンが設けられ、福島、茨城、栃木、兵庫、鳥取、福岡、佐賀、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄の11県がブースを出展し、約300人の出席者に対して県産品などのPRを行った。各県が自慢の県産品を出品する中、本県はいちご、とちぎの酒、卵を出品した。



【「天皇誕生日祝賀レセプション」に設置された本県ブース=2月10日、アイランドシャングリ・ラ香港】

イチゴについては、「とちおとめ」に代わる主力品種として生産が拡大している「とちあいか」を出品したところ、用意したイチゴが次々となくなっていく。「口の中でとろける」「とても甘くておいしい」という言葉をいただくとともに、二度三度と試食される方もいるなど、非常に高い評価を得られたと感じている。

とちぎの酒については、香港で流通している本県産の日本酒、ビール、ワインを出品した。日本酒への評価の高さは言うに及ばず、那須高原ビール（那須町）のヴィンテージビール「Nine-tailed Fox」については欧米の方々に好んで試飲していただいた。また、Cfa Backyard Winery（足利市）のワイン「Opening Act」については試飲された方から「取り扱ってみたい」という言葉をいただいた。バラエティー豊かなとちぎの酒の味わいを、多くの方にお伝えできたに違いない。

卵については、稲見商店（大田原市）が香港へ輸出している「稲神たまご」を使用した茶碗蒸しを提供した。「これまで食べた茶碗蒸しの中で一番おいしい」という言葉をいただくなど、素材のおいしさが存分に引き出された茶碗蒸しを味わっていただけたのではないかと感じた。

他県に比べて知名度では劣る本県であるが、今回のブース出展においては大きな存在感を示せたと思う。1月に開催した「とちぎの酒と郷土料理フェア」は一般消費者向けだったが、今回は各国・各界の要人という異なるレイヤー（層）に本県の魅力をPRできた。こうしたPRの積み重ねが、香港における本県のファン獲得につながるはずである。

（県香港事務所長 卯木啓之）